



2014年11月10日

各位

会社名：株式会社ゼンショーホールディングス
 代表者名：代表取締役会長兼社長兼CEO 小川 賢太郎
 (コード番号 7550 東証第1部)
 問合せ先：取締役グループ経本部長 金子 武美
 (TEL：03-6833-1600)

業績予想及び配当予想の修正、特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、直近の業績動向等を踏まえ、2014年8月6日に公表いたしました2015年3月期 第2四半期累計期間(2014年4月1日～2014年9月30日)および2015年3月期 通期(2014年4月1日～2015年3月31日)の業績予想を、下記のとおり修正いたします。

記

1. 業績予想の修正について

第2四半期累計期間(2014年4月1日～2014年9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	254,312	1,881	1,246	△1,962	△13.21円
今回修正予想(B)	251,587	1,172	1,070	△2,231	△15.02円
増減額(B-A)	△2,724	△709	△175	△269	—
増減率	△1.1%	△37.7%	△14.1%	—	—
前期第2四半期(累計)実績	227,649	4,342	4,123	404	3.34円

通期(2014年4月1日～2015年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	525,068	8,055	6,811	△1,370	△9.22円
今回修正予想(B)	509,291	△1,774	△2,411	△7,534	△50.71円
増減額(B-A)	△15,776	△9,829	△9,223	△6,163	—
増減率	△3.0%	—	—	—	—
前期通期実績	468,377	8,134	7,957	1,103	9.01円

修正の理由

当第2四半期累計期間の営業利益につきましては、既存店売上高前年比が想定を下回ったことが主要因となり、当初予想を下回る見込みです。

通期の利益につきましては、牛井チェーン「すき家」において、10/1より深夜複数人体制をとれない店舗の深夜営業を休止したことによる利益損失の拡大が見込まれることに加え、グループ計の既存店売上高前年比の想定を103.6%から102.5%に変更したこと、牛肉を中心とした食材価格のさらなる高騰が予想されること等により、当初予想を下回る見込みです。

※当期純利益につきましては、(米) Catalina Restaurant Group Inc.等の事業会社損失分の税効果が会計上反映できないことによりその水準を押し下げることとなっております。

2. 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	期末	合計
前回予想 (平成26年8月6日公表)	円 銭 —	円 銭 4.00	円 銭 —	円 銭 4.00	円 銭 8.00
今回予想	—	0.00	—	0.00	0.00
当期実績	—	—	—	—	—
前期実績 (平成26年3月期)	—	8.00	—	8.00	16.00

修正の理由

当社グループは、株主の皆様に対する安定した利益還元を経営の重要政策の一つと考え、積極的な業容の拡大と内部留保金の充実を図りながら、業績に応じた利益配分を行うことを基本方針としております。

しかしながら、前述のとおり、2015年3月期において、多額の当期純損失が見込まれることから、誠に遺憾ではございますが、当第2四半期および期末の1株当たり配当予想を無配とさせていただきます。

なお、株主優待制度につきましては、変更はございません。

※ 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

3. 特別損失の計上について

店舗に係る減損損失および除却損等の特別損失を第2四半期においては1,436百万円を計上し、通期においては2,924百万円の計上を見込んでおります。

4. その他

今回の業績予想及び配当予想に関する経営責任を明確にするため、下記の通り代表取締役会長兼社長、その他取締役及び執行役員の報酬を減額いたします。

(1) 報酬の減額内容

代表取締役会長兼社長の月額30%の減額

その他取締役の月額10%の減額

執行役員の月額7%の減額

(2) 対象期間

2014年12月から2015年5月まで

以上